令和５年度　取組報告　　**富雄中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像　**『命や人を大切にする子』『感謝の気持ちを大切にする子』『夢に向かって進める子』『富雄を愛する子』**

取組目標　**幼稚園からの 11 年間の学びの連続性を支えられる地域学校連携事業であるために、目的、課題を確認しつつ丁寧に取り組む**

【今年度の取組紹介】

例年取り組んでいる「防災学習」ですが、昨年度はまだコロナ禍の影響があったため、「防災チャレンジ」と題して人が密集することを避けた半日のイベントになりました。地域の方、親子連れなど様々な方に参加いただき、中学生も主催者側のお手伝いができ、ある程度は目的が達成できたかと思いますが、課題も多く、特に「子どもの学び」に対する視点の弱さがありました。

そこで今年度は４年ぶりに「富雄子ども避難所生活体験」を復活させるにあたり子どもたちが参画し、自ら学ぶ工夫を学校と共に考え実施しました。

中学校で実施している避難訓練にウェブ防災講演を組み込み、東北の震災で実際に避難所を運営された方から中学生の活躍の姿を紹介いただき「助けられる側から助ける側へ」と意識付けを図ったうえで「防災学習」実行委員会のメンバーを中学生から募集しました。そこに高校生、大学生が加わり、企画の最初の段階から子ども達の意見を反映させました。

奈良教育大学のボランティアサポートオフィスの協力も得て、小学生と中学生が中学校の体育館で１泊２日を過ごし、いざという時に自分は何ができるのかをテーマに体験しました。地域からの積極的な協力もあり、充実した体験となりました。

【今年度のまとめ】

コロナ禍で制約があっても、ほとんどの取組を中止することなく工夫をして実施してきましたが、制約がほぼなくなっても完全に以前の状態に戻った訳ではありません。戻るのではなく、さらに前進させるためにも目的や課題をしっかりと見据え、「子ども達の主体的な学び」をどのように支えるのか、協議会としても学びを重ねる必要性を感じています。

来年度に向けてどの部分に注力するのかを明確にするため、協議会で熟議を実施できたのは大きな成果となりました。

【来年度に向けて】

来年度の活動に向けて、協議会として子ども達に着けたい力を「自己決定力」「人と関わる力」「回復する力」と明確にしたことから、継続して実施している取組にどのように反映させるのかを考える必要があります。取組は目的を達成するための手段であるという考え方を忘れずに、学校と地域の連携、共通理解を図っていきたいと思います。

令和５年度　取組報告　　**富雄中学校運営委員会**

めざす子ども像　**命や人を大切にする子、夢に向かって進める子**
感謝の気持ちを大切にする子、富雄を愛する子

取組目標　**地域と一体になった活動を通し、めざす子ども像に合わせた取組の充実。教職員における地域との協働意識の向上。新型コロナウイルスの感染拡大状況に合わせた事業の工夫と実施。**

【今年度の取組紹介】

今年度は新型コロナウイルス感染症の５類移行に伴い、コロナ禍前の取組に完全に戻すわけではなく、現況に応じた効果的な取組を模索しながら計画・運営に取り組みました。

キャリア教育では１．２年生ともに多くの講師先生をお招きし、様々な職業や「働くこと」について学びを深め、自身の将来について考える良い機会となりました。３年生では、実際に企業で人事を担当している方々に来校していただき、面接の受け方や話し方について学ぶ貴重な時間をもつことができました。また、東日本大震災の際に、避難所開設・運営に携わられた講師先生によるオンライン講演を、避難訓練の前に実施し、防災意識を高めることができました。その取組にて防災に興味をもった生徒数名が、地域防災活動の一環である「避難所生活体験」にて、大人に混じり実行委員として加わり、企画・運営できたことは学校としても地域としても非常に嬉しい動きでした。その他、生徒の表現力向上のため、「富中川柳」、「ベルマークプレゼンテーション」、「ビブリオバトル」の機会も引き続き設定することができました。

【今年度のまとめ】

例年実施している取組についても打合せを実施し、アップデートを図りました。また、取組事後に教員とコーディネーターが生徒の感想等も参考にしながら次年度に向けての改善点について検討も行いました。生徒や社会の実情から新たな取組や新たな視点を取り入れることも柔軟に行えました。生徒の約９３％がアンケートにおいて、「地域と学校が連携しながら自分たちを育てようとしてくれている」と肯定的な回答をするなど、地域の方々に温かく見守られ、支えられていることを実感していることも分かりました。

【来年度に向けて】

生徒の多くが、地域に貢献したい思いはもっているものの、実際に活動できた場面は限られていました。地域貢献を行う場は設定しているものの、参加へのハードルがあるようなので、生徒の自主性を最大限に尊重しつつも、教員から「ポン」と生徒の背中を一押しするような言葉がけや取組を実施していこうと職員で共通理解を実施しました。

めざす子ども像　**命や人を大切にする子　感謝の気持ちを大切にする子**
夢に向かって進める子　富雄を愛する子

取組目標
○地域人材や保護者ボランティアを活用した体験型学習を通して、考えて判断する力を高める。
○活動から分かったことや考えたことを地域ボランティアや保護者に伝える機会をもつことで、表現力、発信力、コミュニケーション力を高める。
○人とのふれあいの中で、挨拶や感謝の思いを大切にする。

【今年度の取組紹介】

６年　みんなでボッチャをやろう！（総合学習）

６年生は「福祉」をテーマにして、みんなと安心して暮らせる町づくりについて考える学習を行いました。ボッチャ大会を通して、友達を応援したり、友達と共に喜んだり悔しがったりして、みんなが同じ思いをもって楽しむことの良さについて考えました。ボッチャの他に、車いす体験・認知症講座などのシリーズ学習を通して、自分の思いを伝えること、周りの人の思いを知ること、自分にできることを考えることの大切さを考えることができました。

盛り上がったボッチャ大会

５年　富雄はどんな備えをしているのか？（総合学習）

５年生は「防災」をテーマに、命を守るためにできることについて考える学習を行いました。「人と防災未来センター（神戸市）」に行き、震災の怖さや人の働きについて学んだ上で、地域の防災士さんから「自助・共助」の大切さについてお話を聞いたり、防災倉庫の中を見せてもらったりして、災害への備えの大切さについて知りました。学習後、「けがをした人を担架で運びたい」のような守られる側ではなく守る側の考えをもつ子も多くいました。ミニ防災士の誕生です！

防災グッズ紹介

メモリアルコーナーの活用（広報活動）

昨年２月、学校玄関を入ったところに、学校や子どもたちの様子を発信するメモリアルコーナーが設置されました。このコーナーに広報誌『コミスクだより』を掲示したり、大型テレビにスライドショーを流したりして、学習支援の様子や地域の方との交流活動について発信しました。コーナー前で、「友達がうつっているよ」と喜ぶ子や、展示物に見入っている保護者・地域の方の姿がうかがえました。

メモリアルコーナー

【今年度のまとめ】

年間通じて、全学年で、地域の方に学習支援をいただきました。「地域の方との体験学習」について、児童の93%が「やってよかった」、保護者の95%が「有意義だった」と回答がありました。活動後、「もっとやってみたい」「今度は自分でも挑戦したい」といった思いを発表する子も多く、地域の方々に見守られながら、教えてもらったり、ほめてもらったりしていただいたことは、子どもたちの自信や意欲につながりました。

【来年度に向けて】

これからも富雄のすばらしい「ひと」「もの」「自然」「歴史」との出会いやふれあいを大切にして、「富雄を愛する子」を育てていきます。

令和５年度　取組報告　　**鳥見小学校運営委員会**

めざす子ども像

命や人を大切にする子　　夢に向かって進める子
感謝の気持ちを大切にする子　富雄を愛する子

取組目標　**・ゲストティーチャーを招聘するなど、多様な人との関わりを通して、より良い人間関係を作り、夢をもって自ら学ぼうとする児童を育成する。**
・地域の方と共に活動することで、人と出会うことの楽しさ・素晴らしさ、地域の良さを知ると共に、地域に対する誇りと自信、地域を愛する心を育てる。

【今年度の取組紹介】

○学習支援ボランティア事業（３年生）

　たくさんの地域のボランティアの方に、３年生の「ならまち探検」の支援をしていただきました。ならまちでは、子どもたちがグループに分かれて、ならまちを探索するのをボランティアの方に見守っていただきました。子どもたちは、自分たちで回る順番をグループで話し合い、自分たちで行動できたことも大きな自信になりました。

○体験学習事業（１、２年）

１、２年生は，地域コーディネーターの方の協力により「大紙芝居」の鑑賞をしました。昨年に引き続いての取組でしたが、子ども達は畳１畳の大きな紙芝居に吸い込まれるように鑑賞していました。「二月堂良弁杉」「飛鳥山の地蔵」のお話をしていただき、地域のことを知り、興味を持ち、地域を愛する子の育成のきっかけづくりになりました。

【今年度のまとめ】

今年度も地域コーディネーターの方のご協力のもと、たくさんの支援をしていただきました。今までの事業の見直しを行い、同じ形で実施できる取組・形態を工夫してできる取組・新たな取組に仕分けを行いながら地域ボランティアの方等に協力をいただき予定通り実施することができました。特に、図書活動支援事業では、たくさんの地域の図書ボランティアの方が参加してくださり、図書の本のブッカーかけや季節感あふれる掲示物を作成してくださいました。今年度は、本の貸し出しシステムの変更にともなう本のバーコードの貼り替えもしていただきました。

【来年度に向けて】

来年度も地域の方のお力を借り、めざす子ども像の実現に向け、子ども達にとって地域の方に親しみを感じ、様々な体験ができる活動を継続していきたいです。今までの取組を考え直し、工夫して実施することにより、取組目標が達成されるよう工夫改善しながら実施していき、地域の方と教職員がつながる場面を拡大していきたいと考えています。

令和５年度　取組報告　　**富雄北幼稚園運営委員会**

めざす子ども像

命や人を大切にする子　　夢に向かって進める子
感謝の気持ちを大切にする子　富雄を愛する子

取 組 目 標

〇様々な事業を通して、地域の人と触れ合い、関わりながら、コミュニケーション力を高めたり、知らないことを知る喜びを味わったり、感動したりしながら豊かな心と体を育てる。

〇事業内容の方法や回数を見直しながら継続し、協働していく。

【今年度の取組紹介】

◎＜剣道教室＞日本の心、伝統文化を学ぶ

剣道教室では、講師の先生が剣道着を付けておられるのを見て、「かっこいい」と目をキラキラ輝かせている子ども達です。竹刀の振り方、声の出し方はいつも以上に力が入っていました。

日本古来の武道の基本精神である「礼に始まり、礼で終わる」の精神を学び、相手を敬い尊敬する気持ちをもつことの大切さと自分の心を整えコントロールする方法を知りました。

◎＜みんなでABC＞様々な国、異文化を学ぶ

ポイント・クリアの講師の先生と一緒に英語の歌を歌ったり、踊ったり、絵本やカードを見ながら英単語を言うなど「みんなでABC」では英語に触れてきました。ハロウィンの時期には大きな声で「Trick or Treat」と言いながら先生との英語のやり取りを楽しんでいました。色や動物の英単語や歌を覚え、園生活の中で使ったり、友達との遊びで使ったりする姿があり、簡単な英語から異文化への興味につながりました。

【今年度のまとめ】

園の行事を中心に様々な場面で地域コーディネーターや地域の支援者の方にサポートしていただき子ども達だけでなく保護者ともつながりを深めることができました。保護者アンケートでも高く評価していただいたり、地域コーディネーターの方からも率直な意見を聞いたりしながら取組の高評価を得ました。地域の方に温かく見守られ、感謝の気持ちや思いやりの心を育んだり、地域のすばらしさを知ったりしながら、子ども・保護者・地域の方が一つになって、心に蓄積される体験となりました。

【来年度に向けて】

コーディネーターの方々と一緒に人とかかわり、人とつながりが持てる体験活動になるように計画・実践・振り返りをしていくと共に、保護者や地域の方々にも園の取組をさらに理解していただき協力が得られるような啓発活動にも努めていきたいです。

令和５年度　取組報告　　**鳥見幼稚園運営委員会**

めざす子ども像

命や人を大切にする子　夢に向かって進める子

感謝の気持ちを大切にする子　富雄を愛する子

取 組 目 標

〇様々な活動行事を通して、地域の方と触れ合い、コミュニケーション能力を高めたり、興味や関心の幅を広げる。

〇幼児の心身に直接働きかける生の体験を充実させ、意欲や活動を楽しむ態度を育てる。

【今年度の取組紹介】

〇「お話の会」

学期に一度、地域のお話サークル「泉のたまご」さんに来ていただき、お話の会を行っています。絵本・紙芝居・大型絵本に加え、素話もしてくださいます。

季節の行事や物語など、様々なジャンルのお話で、登場人物によって声色を変え、楽器を使った効果音も入れてくださることで、子ども達はあっという間にお話の世界に入っていきます。笑ったり、ちょっと涙ぐんだりと、感情も揺さぶられ、まさに心が動く体験をさせていただき、豊かな心の育ちへとつながっています。

〇「生け花教室」

今年度は初めて「生け花」に挑戦しました。先生が用意してくださるお花の中から、自ら選び思い思いに生けていきます。先生は手直しはされず、花がうまく給水できるアドバイスと、生きているお花への心配りをお伝えされるのみで、すべて子ども達自身が仕上げていきます。命の大切さと、表現することの楽しさが体感できる良い機会となりました。

【今年度のまとめ】

今年度も、コーディネーターの方々と相談し、ボランティアやゲストティーチャーのご協力により、保育・教育内容を充実させることができました。活動の継続で地域の皆様と顔見知りになり、親しみを感じながらの活動で、感謝の気持ちがうまれています。さらに新しいことも取り入れることで、子ども達の視野が広がり、豊かな心の育ちにもつながっています。

【来年度に向けて】

園児数が大幅に減少することから、コーディネーターの方々、小学校、地域の皆様のお力を借り、引き続き様々な人と触れ合い、豊かな体験ができるように進めていきたいと思います。また活動について、保護者だけでなく多くの方々に知っていただく為、発信にも努めたいと思います。